

(公表様式2)

軽費老人ホーム<内容評価項目>(29項目)

A-1 個別サービスの提供

(1)利用者に対する食事の提供		第三者評価結果
1	① 食事を楽しめるような工夫を行っている	a・ b ・c
2	② 定期的に食事の環境を見直すシステムができていて、機能している	a・ b ・c
3	③ 利用者の心身の状態に応じた食事の提供を行っている	a ・b・c
4	④ 食事について利用者の要望、希望を取り入れているようにしている	a・ b ・c
<p>(特に評価が高い点) 年に1回実施している嗜好調査に寄せられた声は、利用者、管理栄養士、介護職員等で構成される栄養懇談会で検討され、積極的に食事サービスの向上へとつなげる仕組みが確立している。 取り組みの一例として、昼食米飯を3種(粥・軟飯・普通)の中から自由に選択し、セルフサービスで盛り付けられるように改善し、利用者からも好評を得ている。日々の献立については、献立表を掲示しホワイトボードで周知している。さらに平成26年12月から献立表を利用者に配布することも始めた。</p> <p>また、塩分やカロリー等の制限がある利用者に対して、管理栄養士が個別で栄養指導を行う仕組みがある。 食堂に電子レンジやトースターを完備、2時間以内であれば温め直して食することができる。</p>		
(1)利用者に対する入浴の提供		第三者評価結果
5	① 入浴や清拭は、安全かつ適切に行っている	a・ b ・c
6	② 入浴に関して、利用者の自尊心、羞恥心やプライバシーに配慮した介護を行っている	a ・b・c
<p>(特に評価が高い点) 浴室は男女別の共用浴室を設置している。出入り口には、のれんを効果的に配置し、プライバシーに配慮された空間となっている。 入浴時間は曜日にもよるが10時～17時半までで、毎日入浴ができ順番等はなく自由に入浴することができ、季節に応じたしょうぶ湯・リンゴ湯・レモン湯などが楽しめ、脱衣室にはハーブを置き、リラックス効果を高める工夫をしている。 また、身体状態の変化により一部介助が必要となれば、訪問介護サービスを利用し、安全に入浴することができる。</p> <p>(改善が求められる点) 健康面での不安があれば職員がその都度相談に応じ、血圧を測定するなどの対応をしているが、体調不良時だけでなく定期的に検温や血圧測定を行い、各利用者の平常値を把握しておく取り組みも今後検討されたい。</p>		
(3)利用者の適切な排泄管理		第三者評価結果
7	① 排泄の自立への配慮を個別の状態に合わせて考慮している	非該当
8	② 排泄に関して、利用者の自尊心、羞恥心やプライバシーに配慮した介護を行っている	非該当
9	③ トイレは清潔で快適である	a・ b ・c
<p>(特に評価が高い点) すべての居室にトイレが完備されており、プライベートな空間で安心して排泄することができる。また、共有部分のトイレは毎日清掃しており、衛生面に配慮されている。さらに、インフルエンザやノロウイルス等の感染症流行期には消毒液を変えて清掃する等、感染症の予防対策にも余念がない。</p> <p>身体機能の低下等により排泄介助が必要な状況となった場合は、居宅介護支援事業所の介護支援専門員等と連携を図り適切な介護サービスの利用等へとつなげている。</p> <p>(改善が求められる点) 浴室のトイレも同様に衛生管理されることが望ましい。</p>		

(4)利用者の自立した生活への支援		第三者評価結果
10	① 利用者の意思に基づいた移乗の支援を行っている	非該当
11	② 利用者の身体状況に応じて福祉用具などを適切に提供している	a (b)・c
<p>(特に評価が高い点・改善が求められる点) 移乗の支援、ならびに福祉用具の提供は行っていない。必要時には、担当の居宅介護支援事業所の介護支援専門員等に情報提供するなどして連携を図っている。</p>		
(5)利用者の整容の確保		第三者評価結果
12	① 利用者の状態や意思を反映した清潔な整容等の支援を行っている	非該当
<p>(特に評価が高い点・改善が求められる点) 利用者の整容に関して直接的な支援は行っていないが、必要な利用者に対しては訪問理美容の予約を代行している。</p>		
(6) 利用者の健康管理		第三者評価結果
13	① 日常の健康状態の把握を適切に行っている	a・(b)・c
14	② 必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる	(a)・b・c
15	③ 服薬の誤りがないよう対策を講じている	a・b (c)
16	④ 感染症及び食中毒対策を適切に行なっている	a (b)・c
<p>(特に評価が高い点) 利用者の健康状態は、入居時の健康診断書等の情報に基づき、定期的に本人から内服薬の情報一覧を提示していただくなどして把握している。 利用者の健康維持・増進のための取り組みとして、週に一回健康体操を行っており、プログラムの中でベッド上でもできる簡単な運動を紹介するなど、身体機能の維持を呼びかけている。</p> <p>(改善が求められる点) 感染症及び食中毒対策について併設施設等との合同勉強会に参加して積極的に情報収集しているが、予防・対策マニュアルについてケアハウスの実態に即した内容で改訂されるよう検討して欲しい。 また、4名の服薬預かりを行っているが、誤薬防止マニュアルがないため、早急に整備し、取り扱い手順の標準化を図って欲しい。</p>		
(7) 利用者の希望、要望の尊重		第三者評価結果
17	① 余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている	a (b)・c
18	② 外出は利用者の希望に応じて行われている	(a)・b・c
19	③ 新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意志や希望に沿って利用できる	(a)・b・c
20	④ 利用者の意思や希望を尊重した生活が送れるよう配慮している	a・b (c)
21	⑤ 預り金は、利用者の希望に沿って適切に管理している	非該当
22	⑥ 生活の継続性がある、なじみのある暮らしができるように配慮している	a・b (c)
<p>(特に評価が高い点) 季節ごとに花見や紅葉狩り等の外出支援を行っており、行先に関する意向を利用者から聴取するなどして次の計画に活かしている。 買い物外出は月に2回実施しており、利用者の多様なニーズに応えられるよう衣料品から食料品まで幅広く買い求めることのできる店舗を選択している。</p> <p>(改善が求められる点) 入居に際し、個別面談によって生活歴・習慣や嗜好等について情報収集はされているが、今後は詳細を記録に残し、職員間の情報共有と継続性のある生活支援に反映されることを期待したい。 余暇・レクリエーション活動においても参加者に偏りがあるため、今後は利用者が選択できるようメニューの充実を図って欲しい。</p>		

A-2 家族との交流の確保

(1)利用者と家族との交流、家族との連携確保		第三者評価結果
23	① 利用者との家族との交流の機会について配慮している	a・ b ・c
24	② 利用者との家族との連携を積極的に図っている	a・ b ・c
<p>(特に評価が高い点) 納涼祭には家族の参加も呼びかけ、交流の機会を大切にしており、各居室に家族が宿泊することもできる。</p> <p>(改善が求められる点) ケアハウスは自立されている方が多いため、現在は家族関係に必要な以上に介入していない実態にある。 しかしながら、高齢化に伴って心身状態の変化等も懸念される為、定期的に施設での様子を電話や手紙等で家族等に知らせるなどして、さらに連携を図られることを期待したい。</p>		

A-3 利用者の人権の擁護

(1) 利用者に対する不当な取り扱いの防止		第三者評価結果
25	① 身体拘束廃止について明確な対応策を講じている	a・ b ・c
26	② 利用者を傷つけるような職員の言動、介護放棄等の虐待が行われないための具体策を講じている	a・ b ・c
27	③ 必要な利用者には、青年後見制度や地域福祉権利擁護事業の利用情報の提供など支援を行っている	a・ b ・c
<p>(特に評価が高い点) 施設内から外へ自由に入出入りすることができる環境となっている。また、日頃から利用者に対する言葉掛けが不適切になっていないか、職員相互に確認し合っており、権利擁護に関する外部研修にも参加するなどして、職員の意識啓発に努めている。</p> <p>成年後見制度や地域福祉権利擁護事業について実際の利用に向けて外部関係機関窓口との連携体制が取られており、今後も利用に備えて積極的な情報提供を継続されたい。</p>		
(2) 生きがいのある生活		第三者評価結果
28	① 孤立、退屈、無気力にならない配慮をしている	a・b・ c
<p>(改善が求められる点) 職員が利用者一人ひとりに対する個別の関わりが不足していると感じており、これから一人ひとりの希望や好みをアンケートや面談等によって聴き取りをする機会を設け、楽しみや生きがいを感じることで具体的な取り組みを検討していくとの意向である。</p>		
(3) その他		第三者評価結果
29	① 自己評価を実施している	a・b・ c
<p>(改善が求められる点) 今年度より実施していくとの意向である。今回の福祉サービス第三者評価をきっかけとして、サービスの質の向上のため、自己評価の継続的実施と改善のに向けた取り組みを積極的に進めて欲しい。</p>		